

学校法人内田学園だより

～創刊号～

平成28年7月20日
発行人 内田学園
内田文江
編集 編集委員会
発行所 厚木市七沢
433-1
電話 046-270-6123



『内田学園のさらなる 飛躍へ向けた挑戦へ』

学校法人内田学園理事長
(兼)七沢幼稚園長 小島富司



盛夏の候、内田学園の保護者の皆さま並びに同窓会関係の皆さま方、そして地域の各教育・福祉等関係者の皆さまにおかれましては、お健やかに過ごしの由、何よりとお喜び申し上げます。

さて、今春の4月より、はからずも学校法人内田学園の理事長(兼)七沢幼稚園長を拝命し、大役を担うこととなりました。これまで、内田学園は「内田文江」先生による昭和54年幼児開発学園の創立に始まり、七沢地域の豊かな自然と歴史と人々の暮らしや文化を教育環境の基盤とした、特色ある幼稚園教育の研究と実践を積み重ねてきました。そして平成21年度には「七沢希望の丘初等学校」が開校し、正に幼児期から児童期への教育開発を理想とする基盤づくりが確立しました。このことを考えますと、身の引き締まる思いであると同時に、誠に汗顔の至りでもあります。しかし、お引き受けした以上、微力ではありますが誠心誠意努力する所存ですので、広く関係者各位のご支援ご協力を賜りますよう、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

今、七沢幼稚園は、子どもたち自身が地域の豊かな自然や暮らし文化や芸術などの本物にふれ気づき感じ取れた内容を、子どもたちが共に協力し合い創り上げ達成していく『テーマ活動』を具体的な保育の実践活動としています。そして、子どもたちの豊かな想像力と実のある創造力を育み、たくましく生きる力を生み出す幼稚園教育に取り組んでおります

また、七沢希望の丘初等学校は、七沢の豊かな自然や歴史のある恵まれた教育環境を活かしながら、子どもたち一人ひとりがこの「生きる喜び」を実感できる教育活動を実践しております。そのことによって、子どもたちが常に新たな希望を持ち、自ら学びを拓いていくことを目指しております。

まず私たちの取り組むべきことは、七沢幼稚園及び七沢希望の丘初等学校による、これらの教育理念を踏まえた上で、「内田学園」のこれまでの教育実践の歩みを振り返り、築き上げてこられた数々の教育の営みとその記録をまとめ上げることだと考えます。その上で、次の目標となる学園の「四十周年」に向けて弛ることなく堅持・発展させること。これが私たちの重要な使命であり責務でもあり、改めて責任の重さを痛感しております。

一方、日々の学園生活で大いに勇気づけられ励みとなるのは、保護者の皆さま方による教育活動への力強いご支援ご協力であり、皆さま自身による主体的な生涯学習活動の姿でもあります。また、同窓生の皆さま方による、母園母校に寄せる期待感を感じ取る時でもあります。ぜひとも皆さま方のご支援ご理解を賜りながら、内田学園の輝かしい歩みとさらなる飛躍へ向けた挑戦者のつもりで努力いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

目次

理事長挨拶	1
「内田学園のさらなる 飛躍へ向けた挑戦へ」	
学園長挨拶	2
「七沢幼稚園と 七沢希望の丘初等学校」	
校長挨拶	
「自由研究と自由課題」	
幼初連携	3
「一学期の幼初連携活動」	
七沢幼稚園	4～5
「園長先生と遊ぼう！」 「1学期のこどもたち」	
七沢希望の丘初等学校	6～7
「1学期の様子」	
法人本部	8
「異動のお知らせ」 「内田学園ファミリー フェスタ 2016について」	

『七沢幼稚園と 七沢希望の丘初等学校』

学校法人内田学園長 内田文江



七沢幼稚園は、昭和54年10月24日付けで学校法人として認可され、翌年4月から保育を始めました。当時、オープンスペース（保育室がクラス別に壁で仕切られていない形）という形式の園舎を理解していただくのに、欧米でのオープンスクールやソニー厚木幼稚園で実践していたような縦割りのクラス編成が、核家族一人っ子という少子化社会で育つ幼児の人間形成上、なんとしても必要であるということは何度も説明して、やっと現在の保育形態を認可された次第です。開園から常に心がけてきた事は、「本物のある環境づくり」です。子どもたちが豊かな自然、芸術などの本物に触れ、感じ取った内容をグループ活動の目標に定め、協力しあってそれを達成していく”テーマ活動”が形づくられてきました。小学校に生活科が取り入れられる何年も前からそのような取り組みをしており、子どもたちの想像力を創造力へと育て、表現力を豊かに育む活動であると、多くの教育関係者から評価をいただいております。

長年の幼児教育の理念を昇華して平成21年4月に七沢希望の丘初等学校を開校いたしました。



『自由研究と自由課題』

七沢希望の丘初等学校長 島根照夫

夏休み（夏の学校）は、一人ひとりの特性を生かした学習ができるチャンスなのです。一人ひとりに自由な時間が与えられているのです。時間が与えられているということは、私は人間の尊厳だと思うのです。だから何人もこれを犯してはならないのです。自分の時間を大切にする人は他人の時間をも大切にできるのです。だから一人ひとりに与えられた時間を大切にに使わないといけません。夏休みはもちろん不十分な学習理解の定着にも力を注ぐべきでしょう。それは繰り返して定着する取り組みが必要な学習課題などです。

子どもは、不思議だなあ？ どうして？ という疑問を持つことが大切だと思うのです。与えられた課題ばかりをこなすことに終始している子どもには、この疑問が起きにくいのです。世間では、「昔は、ウサギとカメの話が通用したが、このごろは、みんな足の速いウサギばかりになってしまっているんだよなあ。」というぼやき声も聞こえてきます。このような時代だからこそ、時間のかかる子どもの成長が喜ばれる学校にしたいですね。

自由研究は、1目的、2予想、3材料、4方法、5結果（だから〇〇のようになった）、6結論（だから〇〇のようなことが言える）、7考察（予想と比べると〇〇のようになった、だから〇〇だと思う）、8感想（このことを通して〇〇のよう感じた）という手順で進めていきます。多くの人（おとな）が、さあ夏休みが終わってしまう、どうしようを経験していると思いますがこの学校の子どもたちは、あまりこの経験はしないで取り組んでいるようなので嬉しい。そして、作品が、それぞれに、バラエティーに富んでいて、同じものがないのには、感動しました。それぞれが個性であることが、この学校の目指している教育方針なのです。自由研究には、このことが生かされているように思います。

幼初連携

♪一学期の幼初連携活動をお伝えします♪

卯月



4月21日（木）。
七沢幼稚園で砂運びを行いました。
園児と児童が力を合わせ、いろいろな道具を使って、砂を砂場まで運びました。



皐月



5月19日（木）。
それぞれ避難訓練を行った後、初等学校の校庭で、玉川分署の消防士さんによる放水の様子を見せていただきました。水が当たった木の葉が大きく揺れて水の勢いにビックリしました。

水無月

6月24日（金）。
毎年恒例の田植えを行いました。泥んこにつかり、足を踏ん張ってひと植え、ひと植え、丁寧に苗を植えました。子どもたちも経験を重ね、確実に田植えが上手になっています。上級生が園児や下級生に指導している姿が、ほほえましいです。



文月

7月16日（土）。内田学園ファミリーフェスタ
みこし担ぎの後、園庭で盛大にバザー&
模擬店が開かれ楽しみました。



七沢幼稚園



2016 七沢幼稚園春景色

「園長先生と遊ぼう！」

～毎月3回、テーマ活動に関連した内容で園長先生と遊びます～

七沢幼稚園の教育目標「知をそだてる・心をそだてる・体をそだてる」から生まれた、七沢地域の里山と四季折々の自然の営みと人々の暮らしを基盤とした、「遊ぶ活動」そのものです。

以下、これらの領域を広く「遊ぶ活動」に取り入れながら楽しみます。○「あそび・くらし・たべる・あんぜん」(健康)であり、○「自然の不思議さにきづく・本物にふれる・生命の尊さ・公共心・探究心を」(人間関係)であり、○「はなす・きく・つたえあう・絵本や物語から想像する・つたえる楽しさ」(言葉)であり、○「生活の中の色、音、形、手ざわりなどかんじる・出あうものすべてをたのしむ・自由にかいたりつくったり、かざったり・歌ったり・楽器をつかったり」(表現)

春/サルビアの種をまこう、たけのこほって食べて、えにしよう、お蚕さまをそだててみよう

夏/お蚕さままゆつくるかな、小川にホタルとばないかな、ホタルの赤ちゃん大きくそだて

秋/まゆかざりであそぼう、なのはなのたねまこう、サルビアのたねあつめよう、サツマイモ収穫だ

冬/まわたくずしていとつむぎ、紙芝居であそぼう、なのはなかざろう、絵本をつくろう



たけのこ、によっきり顔出した！



サルビアの種まき、頑張ろうね！



お部屋に入れないお蚕さんいるよ！



お蚕さま、元気に動くよ！



お蚕さま、小さなお部屋でまゆづくり



幼稚園にホタルがきたよ！

一学期のこどもたち ~みんなの幼稚園~



新しいお友達のために、おもちゃを洗いました。よろこんでくれるかな？早くみんなで遊ぼうね！

七沢幼稚園に新しいこいのぼりが仲間入りです。みんなで染めてきれいにできあがりました。元気に泳いでね！！



きぬさやとたまねぎの収穫。こんなに大きく育ったよ。みんなで給食で食べようね。メニューは何にする？



~父の日フレイテイ~

6月19日。天気にも恵まれて、毎日忙しく働いているお父さん、いつもありがとう。今日は僕たち、私たちが独り占め。楽しい思い出ができたね。

~保育参加~

6月27日。伸ばして伸ばしてトントントン。楽しい音が響きます。どんな美味しいうどんができたかな？みんなでいただきましょう！『お父さん、お母さん、美味しいお食事をありがとうございます。いただきます。』



七沢希望の丘初等学校



【学校開き&入学式】

(右) 新しい先生を迎え入れ、新鮮な気持ちと真剣な雰囲気の中で、新年度の進級を共に祝い、みんなと力を合わせてがんばろうという気持ちになりました。新学期の目標発表→



(左) 新一年生にとって、これから始まる七沢希望の丘初等学校での生活に向けて「夢と希望」を持ちながら参加できるように、在校生をはじめみんなの力を合わせて、あたたかく迎え入れる入学式を作り上げました。6年生の歓迎の言葉も添えました。

【学校探検】 4/13



「あそこにあるのは・・・です。」 「質問いいですか? 」 「これはね・・・」お宝いっぱい希望の丘 2年生が案内役になり意気揚々と1年生を案内しました。

【タケノコ掘り】



5年生が採ってきたタケノコ。1年生が皮をむきました。タケノコの皮が22枚もあることに驚いていました。22まで数えることができました。



【学校教育農園】

5/10, 12

それぞれの学年に担当の夏野菜の苗が配られました。これから収穫まで育てるのです。



【図書委員会読み聞かせ】



水泳、川遊び、キャンプファイアー、グループのスタンプとプログラムも充実していました。早朝散歩も楽しみました。

【キャンプ】



みんなにできる救助は？



モリアオガエル（天然記念物）の卵も観察することができました。学校に帰ってから低学年朝の会でどうしてモリアオガエルが下に水のあることが分かるのだろうか？と質問したところ「なにかをおとしてたしかめているんだよ」「一回とびこむんだよ」「でもしたになかったらたいへんだよ」極めつけは「せんぱいにきいたんだよ」このこたえにほのぼのしました。

【交通安全教室】

【命の授業】 6/28, 30



交通ルールを理解し、安全な通行方法を身に付けるため、交番のおまわりさん（北条さん）に指導していただきました。

3～6年生を対象に命の授業を行いました。命の大切さや、一人ひとりがかげがえのない存在であることを子どもたちは感じてくれました。保護者からの手紙をサプライズで渡したところ思わず涙ぐむ子もいました。右は「お返事書き」

【七沢里山サミット】 7/11



1, 6年生はバードストライク。2, 3年生はお食事処「七沢亭」。4, 5年生は身近な鳥の不思議。というテーマで実践研究を発表いたしました。近隣の鳥、動物、自然保護団体の方など専門家が集まってくれました。二部のワールドカフェ討論では、子どもたちの疑問や発表内容についての質疑応答が和気藹々のうちに行われました。小さな学校では、討論場面が作りにくいので意識して色々な意見を聞く、多様な考えを学ぶ機会となっています。

法人本部

～任期満了による理事・監事・評議員の
異動のお知らせ～

(任期：2016.4.30～2020.4.29)

理事長 小島 富司
理事 内田 文江、島根 照夫、
大島三奈子、清水 定三、
中島 良永、水島 泉
監事 大内 江公、豊島 景樹
評議員 小島 富司、内田 文江、
島根 照夫、大島三奈子、
中島 良永、水島 泉、
安藤 秀明、及川 朋子、
大竹 秀子、仲 早百合、
福沢 義隆、藤代真理子、
安田 泰敏、山口 貴裕

～内田学園ファミリーフェスタ 2016 について～

去る7月16日に内田学園ファミリーフェスタ
2016（旧なつまつり）を無事開催することが
できました。これもひとえに保護者の皆さまのご
協力の賜物だと心より感謝申し上げます。本当
にありがとうございました。更なる発展を期し
て皆さまの変わらぬご協力を、今後ともよろし
くお願い申し上げます。

学校法人内田学園 理事長 小島富司
学園長 内田文江
七沢希望の丘初等学校長 島根照夫
学校法人内田学園 教職員一同
内田学園ファミリーフェスタ 2016 実行委員会



希望の丘から丹沢山系を撮影
撮影 島根照夫

七沢幼稚園 住所：厚木市七沢590 TEL046-247-3175 FAX046-247-3139
七沢希望の丘初等学校 住所：厚木市七沢 433-1 TEL046-270-6123 FAX046-270-6122